

概要：医療健康戦略本部ではインバウンドの医療観光の充実を政策メニューに加え医療観光プロモーション推進連絡会が発足。小樽市内では小樽市立病院が昨年12月に新設開院し、グローバルメディカルツーリズム事業として健康診断事業（自由診療）に絞り、観光事業との連携した事業の可能性をメディカルツーリズムジャパンを仲介業者として、模索しております。

- 成果：
- ①導入可能性のための成功事例調査（N医科大学付属検診センター他）と院内調査（医療観光導入意向調査、職員満足度調査、患者満足度調査）の実施し院内での支障が無く職員の賛同が期待できることが判明。
 - ②説明書・同意書の翻訳（英語・中国語）とHPでのPR文章の策定、公開の際の課題などを確認し問題点の洗い出し。当該解決策策定には本学博士課程後期課程在生学生を中心に組織した研究会にて実施しビジネスプランの策定した（構成員：病院局事務次長、検診センター長医師、本学教員、仲介業者経営者、院生（中国人））。
- 次年度は観光事業との連携と国内観光客へのプロモーション戦略を検討予定。

